

大分教育事務所訪問 42

大分市立王子中学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「『自立』『協働』『創造』の理念を身に着けた生徒」を育成するために、本年度は「わかりやすい授業」「学校が楽しい～元気に登校、笑顔で下校～」「自分が健康である」をモットーに、それぞれの組織を中心に取り組んでいます。そのため、コロナ禍においても、3年生進路説明会や防災訓練、水泳授業などを工夫して行ったり、2年生は職場体験学習ができないので「マナー講習会」を行ったりする等、生徒に「達成感」「共生感」「自己効力感」を感じさせる実践を行っています。また、長期欠席の生徒については、それぞれの様子や取組状況を毎月一覧表に示すことで、全教職員で対応ができるようにしています。

今後は、学校経営計画表にある、それぞれの取組項目が、どの「資質・能力（3本柱）」を育てるのか（目的）を明確にすることで、教職員や保護者・地域の方との共通理解がすすみ、ベクトルが揃いやすくなると思います。そのことで、方法（手段）は担当者に任せることができ、それぞれの当事者意識がより高まると思われました。

授業から学ぶ

どの授業においても、生徒が学びから逃げることなく前向きに取り組んでいました。特に、音楽では、良い音を出させるために息遣いや発音の仕方を体験させた後、生徒自身が考えることで、意欲的に学びに向かう姿が印象的でした。また、数学では、やや難解な課題を与えていたので、学び合いが効果的に行われていました。

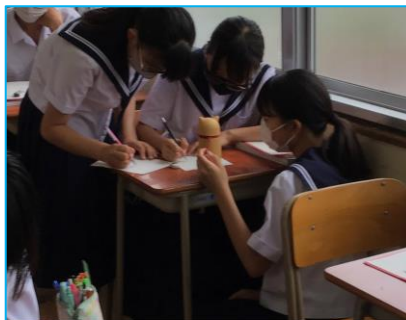
今後は、指導案にある「振り返り」には、生徒がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」とすることで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になります。そのような、日常的な実践を行うことで授業力がより向上すると思われました。



NO.195 2021年7月 大分市立王子中学校

自立

真剣に聞いてくれる人が、見守ってくれる人がいるから、自分でできる。



NO.197 2021年7月 大分市立王子中学校

協働

一人で不安なことも、2人だと安心だ。3人集まると多様な考えを知り、新たな発見がある。



NO.196 2021年7月 大分市立王子中学校

創造

学ぶは真似る
習うは慣れる



NO.198 2021年7月 大分市立王子中学校

相手意識

ノートと異なり、黒板に表すときは、皆がわかるように工夫しながら書く。